

平成24年度 考古学が語る古代オリエント

第20回西アジア発掘調査報告会

—2012年発掘調査の速報・日本隊調査の20年—

2013年 3月23日(土)・24日(日)



エジプト、アコリス遺跡出土の神像



ヨルダン、ウム・カイス遺跡出土のモザイク床



エジプト、アプ・シール南丘陵遺跡出土の石箱

©早稲田大学エジプト学研究所

主催：日本西アジア考古学会・古代オリエント博物館

後援：国土館大学イラク古代文化研究所・中近東文化センター

日本オリエント学会・日本考古学協会・早稲田大学エジプト学会

会場：池袋サンシャインシティ文化会館
7階会議室 710 室
東京都豊島区東池袋 3-1-4

定員：先着 150 名

※どなたでも自由に参加いただけますが、座席数に限りがあり、立席になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



古代オリエント博物館
文化会館7階

文化会館7階会議室

豊島区東池袋3-1-4
池袋サンシャインシティ

<最寄り駅>
■池袋駅 (京・東武線・西武線・地下鉄丸の内線・有楽町線) から徒歩12分
■東池袋駅 (有楽町線) から徒歩6分

参加費：資料代 1,000 円 ※日本西アジア考古学会会員、古代オリエント博物館友会の会員の方は無料です。

お問合せ：古代オリエント博物館 TEL 03-3989-3491 <http://www.sa.il24.net/~aom/>

日本西アジア考古学会 <http://www.hum.u-tokai.ac.jp/~jswaa/>

発表者、演題、発表順などは変更されることがあります。最新情報は上記お問い合わせ先やウェブサイトでご確認ください。

9:30 開場・受付 10:00 開会の辞 17:00 懇親会

旧石器・新石器時代の調査

10:10-10:35 報告1 「パキスタン南部タール砂漠の旧石器時代遺跡
—ヴィーサル・ヴァレー地区2012年調査」

日本・パキスタン考古学共同調査ヴィーサル・ヴァレープロジェクト代表 野口 淳

10:35-11:00 報告2 「南イランにホモ・サビエンスの足跡を探る
—アルサンジャン・プロジェクト2012」

筑波大学大学院人文社会系教授 常木 晃

11:00-11:25 報告3 「初期定住集落の姿を探る
—トルコ、ハンガリー・ホユック第2次調査(2012)」

筑波大学大学院人文社会系准教授 三宅 裕

11:25-11:50 報告4 「南コーカサス地方の新石器時代
—日本・アゼルバイジャン調査団第5次発掘調査(2012年)」

東京大学総合研究博物館教授 西萩 良宏

11:50-12:15 報告5 「ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化過程
—ワディ・ナディアア2号遺跡の発掘調査(2012年)」

金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫

12:15-13:30 昼食休憩

第20回記念講演

13:30-13:40 挨拶

13:40-14:05 講演① 「西アジア発掘調査報告会(第1回)の開催趣旨」
四上館大学イラク古代文化研究所教授 松本 健

14:05-14:30 講演② 「わたしのシリア調査の歩み」

高知工科大学総合研究所教授 赤澤 威

14:30-14:55 講演③ 「テル・マストゥーマとその周辺地域の調査」

古代オリエント博物館共同研究員 脇田 重雄

14:55-15:15 休 憩

15:15-15:40 講演④ 「国士館大学のイラク調査」

国士館大学名誉教授 藤井 秀夫

15:40-16:05 講演⑤ 「イスラエル発掘調査を顧みて」

天理大学名誉教授 金岡 恕

16:05-16:30 講演⑥ 「ハルミラからティールへ」

京都大学大学院文学研究科教授 泉 拓良

17:00-19:00 懇親会

9:30 開場・受付 16:50 閉会の辞 17:00 閉会

中央アジアの調査

10:00-10:25 報告6 「キルギス共和国チュウ・河川流域の考古調査、2012年
—天山北路に栄えたアーク・ベシム遺跡の発掘調査」

東京文化財研究所文化遺産国際協力センター地域環境研究室長 山内 和也

10:25-10:50 報告7 「カザフスタンにおける考古遺跡の地下探査
—シルクロード世界遺産登録に向けた支援事業(2012年)」

東京文化財研究所文化遺産国際協力センター地域環境研究室長 山内 和也

トルコ・南東ヨーロッパの調査

10:50-11:15 報告8 「テイグリス川上流域の都市化を探る

—トルコ、サラット・テペ遺跡発掘調査(2010～2012年)」

国士館大学イラク古代文化研究所共同研究員 小泉 龍人

11:15-11:40 報告9 「中央アナトリアにおける青銅器時代の都市化

—トルコ共和国カイゼリヤ遺跡プロジェクト(KAYAP)第5次調査(2012年)」

ノートルダム清心女子大学現代社会学科准教授 相谷 亮一

11:40-12:05 報告10 「ブルガリア前期青銅器時代集落を掘る

—テル・チャドヴォ遺跡2012年度調査」

東海大学文学部教授 亮 仁志

12:05-13:00 昼食休憩

特別講演

13:00-14:00 「南東アナトリアの中世都市ハツサンケイフの歴史と考古学的調査」

トルコ ハットマン大学教授 アブドゥセラーム・ウルチャム

エジプトの調査

14:05-14:30 報告11 「古代エジプトの聖なる丘とその周辺を探る

—アブ・シール南丘陵遺跡第21次調査—22次調査(2011～2012)」

早稲田大学非常勤講師 河合 望

14:30-14:55 報告12 「ウセルハト墓(TT.47)の再発見

—エジプト、ルクソール、アル・コーカ地区富貴墓群第5次調査(2011-12年)」

早稲田大学文学部准教授・早稲田大学エジプト学研究所長 近藤 二郎

14:55-15:20 報告13 「王朝衰退期の都市

—エジプト・アコリス遺跡の調査2012」

古代オリエント博物館共同研究員 花坂 哲

15:20-15:35 休 憩

レヴァントの調査

15:35-16:00 報告14 「ヘブラ後背地の居住史

—ヨルダン南部シウバク地域地域の第1-4次分布調査(2010-2012)」

金沢大学歴史言語文化学系教授 藤井 純夫

16:00-16:25 報告15 「ベテル」遺跡の現状

—2012年度ベティン遺跡(ハルシチナ自治区)における考古学的一般調査」

鹿屋義塾大学教授 杉本 智俊

16:25-16:50 報告16 「オリエントにおけるグレコ・ローマ都市ガダラの考古学

—ヨルダン、ウム・カイス/ガダラの第8次発掘調査(2012)」

四上館大学イラク古代文化研究所教授 松本 健

閉会の辞



ギョイテペ遺跡(アゼルバイジャン)の建築遺構